

令和7年度第1回八潮市立小中学校通学区域審議会 会議録

開催日時：令和7年11月7日（金）午後2時00分～午後3時05分

開催場所：八潮市役所会議室4—1

公開状況：公開

傍聴者：0名

審議結果：下記のとおり

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 教育長あいさつ
4. 自己紹介
5. 会長・副会長の選出
6. 議事

（1）八潮市立花桃小学校の開校に伴う指定校変更の基準について

・資料に沿って事務局から説明

【質疑応答等】

委員：6年生に関しては馴染みもあるので、現在の学校に残れるよう配慮したほうが良い。新設小学校の学区を見ると、大曽根小学校より大瀬小学校の児童のほうが多いのか。

事務局：大瀬小学校の児童のほうが多い。現状でも八潮駅北側に居住している大曽根小学区の児童は大瀬小学校のほうが多いため、大瀬小学校に行っているケースが多い。

委員：児童が花桃小学校に通学となった場合、先生方はどのように考えているのか。

事務局：学校側の手続きではなく市教育委員会での手続きになる。先生方からは特に意見は出ていない。

会長：6年生は最終学年のため現在の学校に残れるとなった場合、弟妹の取り扱いはどうなるのか。

事務局：現在の許可基準としては、兄弟が卒業するまでは通学できることとしている。それが小学校1年生であったとしても同じ取り扱いになる。その後の希望については、保護者からの相談に基づき個別に対応している。

委員：過去に学区変更をした際も大きな混乱はあったが、時間が解決したと思う。他市で同様の事例はあるか。

事務局：同様の事例は多くはないが、調べた限りでは6年生は現在の学校に通学できることとなっている。また、弟妹が同じ学校に通うというのは当たり前のことだと思うので、他市に合

わせるのであれば、6年生は現在の学校に通学することができるとするのが妥当であると考えている。

委員：親の立場で考えると、6年生と1年生の兄弟姉妹関係であれば別の学校でも良いと思う。一緒に学校に通わせたい気持ちもあるが、2年生からまた新たな人間関係を構築していくのであれば、最初から別の学校に通わせたい。

委員：新設小学校に通うことになる場合、体操着等の備品については現在の学校のものを引き続き使用するのか、新しいものを買い替えないといけないのか。保護者は気になると思う。

事務局：その辺りの取り扱いは別の審議会で議論しているが、現在の議論の中では、2年生から6年生は引き続き現在の学校のものを使用していけるようにしたほうが良いのではないかと、という意見も出ている。

委員：私も統合した学校を経験したことがある。統合当初はそれぞれの体操着を着用していたが、それによるトラブルはなかった。また、6年間同じ体操着は使用できないので、買い替えるときは花桃小学校のものにするということで徐々に広がっていけばよいと思う。

最終学年の6年生が教育的配慮で現在の学校に通えるというのも良い配慮である。5年間通ったことによる学校愛や友人関係もあるので、この意見に賛成する。

委員：他市に同様の事例があれば検討しやすいと思うので、次の会議で示していただきたい。

6年生は現在の学校に通学できるとすると、1年生から5年生は花桃小学校に通学班を組んで行くと思うが、そうすると6年生は通学班が組めないで、保護者の送迎が前提になるのか。

事務局：現状、指定校変更を許可する場合は保護者の送迎を前提としている。

今回のケースでも考え方は同じであるため、通学に際して心配な部分があれば、そこは保護者の対応をお願いしたい。

委員：弾力的な考え方はすごく良いと思う。花桃小学校の学区外の児童でも希望があれば通えるというのも良いと思う。

1点伺いたい。適正学級は18学級ということで考えているということで良いか。

事務局：1学年3学級で、6学年で18学級というのは学校運営上も配慮できる点が多くあるため適正だと考えている。

委員：1年生から5年生までの学区外の児童が花桃小学校を希望する場合も許可するのか。

事務局：まずは許可基準に合致するかどうかで判断をする。学区外からの希望数が分からないため、まずは学区内の児童の受入を行い、学級数に余裕があれば入学することはできると考えている。

委員：高学年も含めて適正規模で開校することが望ましいと思う。ただ6年生の取り扱いを柔軟にする考えは大切である。兄弟姉妹関係についても、兄弟が卒業するまで認めるのか、6年間認めるのかは適正規模の観点からみると難しいと思う。

花桃小学校の最大教室数はどのくらいなのか。

事務局：通常学級は1学年4学級で、6学年で24学級。特別支援学級は3学級が建物の許容数である。

7. その他

8. 閉会